

KAWASAKI Z900RS Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー (※ 固定式のみ 対応)	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ 4 ポジション可変システム	
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ ステップバー 固定式仕様	

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

✧ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M6 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

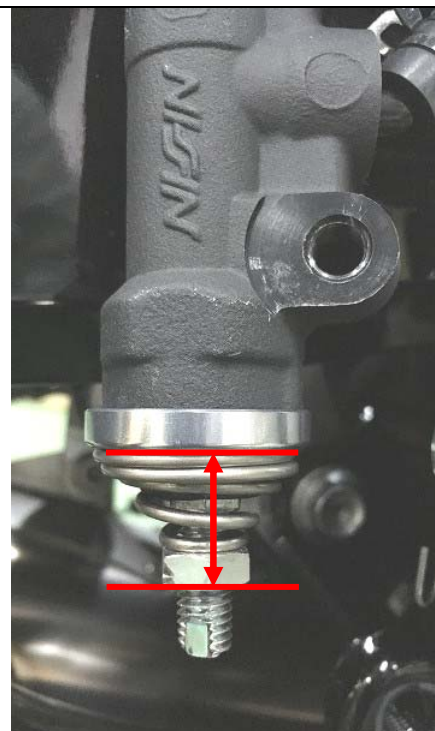
ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチをノーマルホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもノーマルホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、ノーマルステップホルダーをホルダーAssy ごと回してマスターシリンダーから、完全に取り外します。

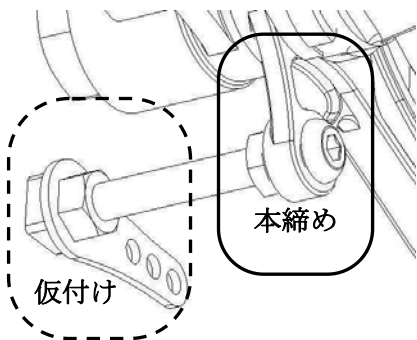
(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

左下図の様に、下側のみポジションプレート(写真はオプションタイプ)とフレームの間に、10mm 厚のカ-を挟む様に取り付ける。
注：取り付けボルトは上下で長さが異なります。



左図の様に、
純正マスターシリンダーに
a) H/B リターンスプリングカ
ラー
b) ペダルリターンスプリング
No.10
c) 純正 M8 アジャストナット
の順でプッシュロッドの M8 ネジ
部に取り付け、
スプリングの上端と、一番下のナ
ットの下端 との 距離を 20 mm
(※ 左図矢印参照) に調整し
純正アジャストナットで仮止め
しておきます。

※後で要再調整

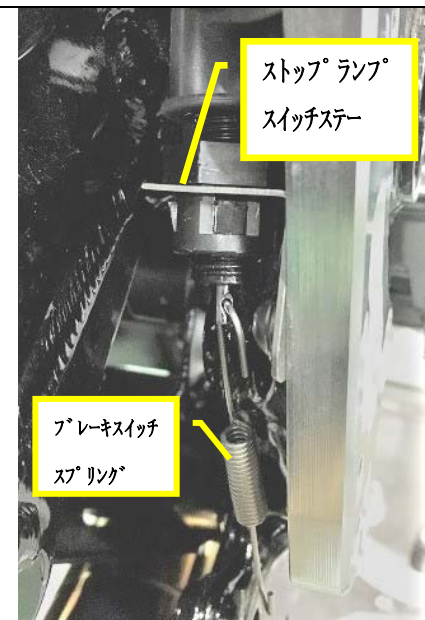


ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×50 を締め込み、裏から左図の様に、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

スイッチロッドステーの角度を、ステーを回してあらかじめセットします。
傾きが決まってからスイッチステー側の M6 ナットを仮締めします。



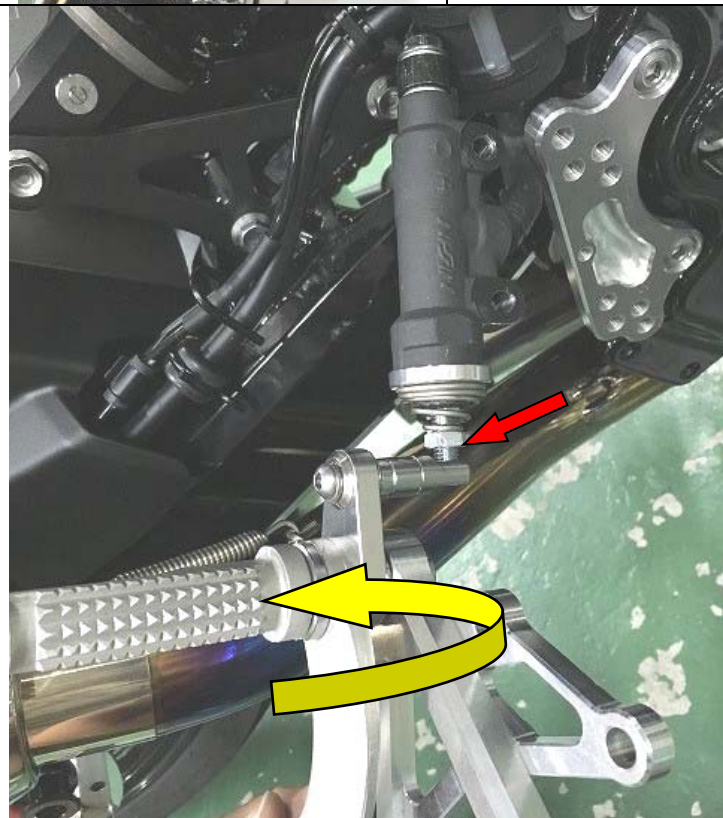
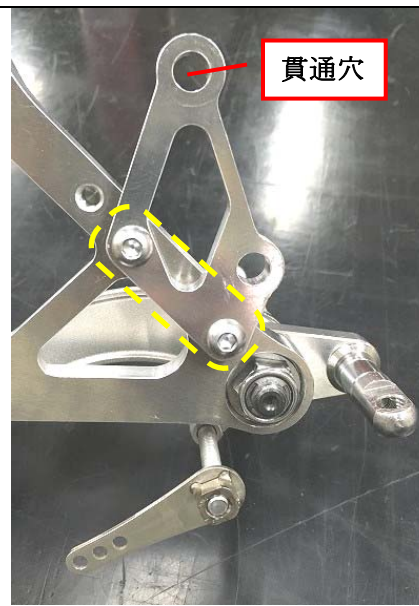


外しておいた純正ブレーキランプスイッチとアジャストナットを方向を間違えないように組み立て、H/B ブレーキ側ポジションプレートについているストップランプスイッチステーに、ナットのツメが引掛かるまで押し込んで下さい。
この時点でブレーキスイッチスプリングを取り付けます。

※純正のブレーキランプスイッチカバーは取外します。
ブレーキスイッチの位置は左図を参考にして下さい。

右図の様に、ステップホルダー裏側に、ヒールプレートホルダーを、丸キャップボルト **M6×15** で取り付ける。

※ブレーキ側のヒールプレート取り付け部は貫通穴になります。
チェンジ側はネジ穴になっています。



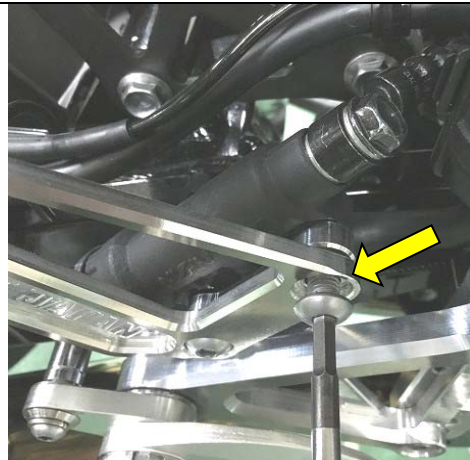
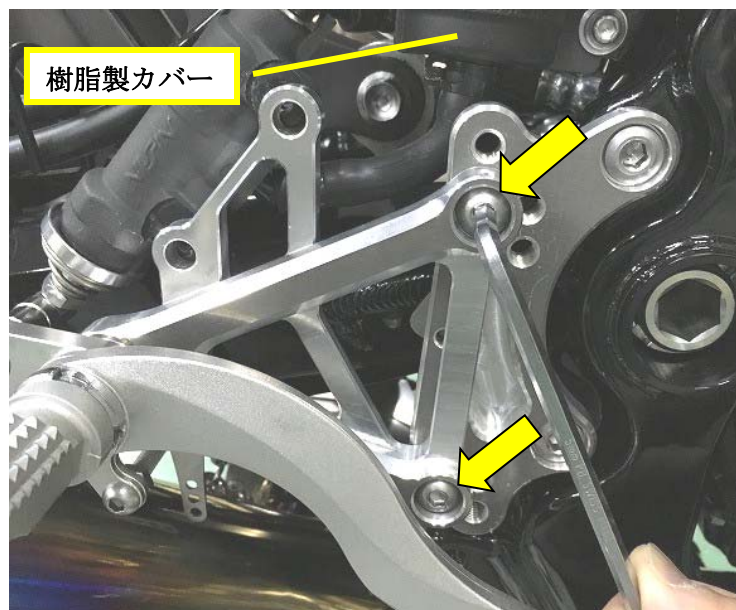
ステップホルダー本体を回転させ、マスターシリンダーのプッシュロッドに取り付けた **M8 ナット** の下端に当たるまでねじ込む。

※ステップホルダーを回転させる際、他の部分に当たらない様に注意しながら作業を行って下さい。

ポジション1・2で使用する場合は、下の写真の様に表側の樹脂製カバーをカットし、取り付ける。



ブレーキ側ステップホルダーをポジションプレートに、好みのポジションに丸キャップボルト **M8×15** で本締めします。



左図の様にヒールプレートを共締めする形で、マスターシリンダーを丸キャップボルト **M8×25** で取り付ける。

マスターシリンダーを取り付けた後ブレーキホース取り付けボルトをブレーキフルードが漏れない程度に緩め、ブレーキホースに負担が掛からない角度に動かし、再度ボルトを締めます。



ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm のスパナで回転させ調整します。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。



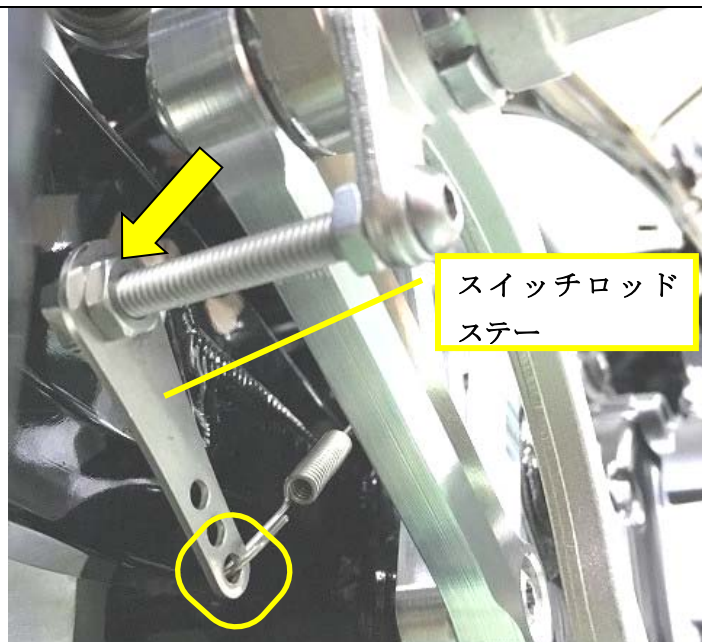
➤ ペダルが 上向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

➤ ペダルが 下向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

矢印の M6 ナットを緩めスイッチロッドステーをフリーにした状態で、ブレーキスイッチスプリングを先端の穴に取り付ける。

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。



◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

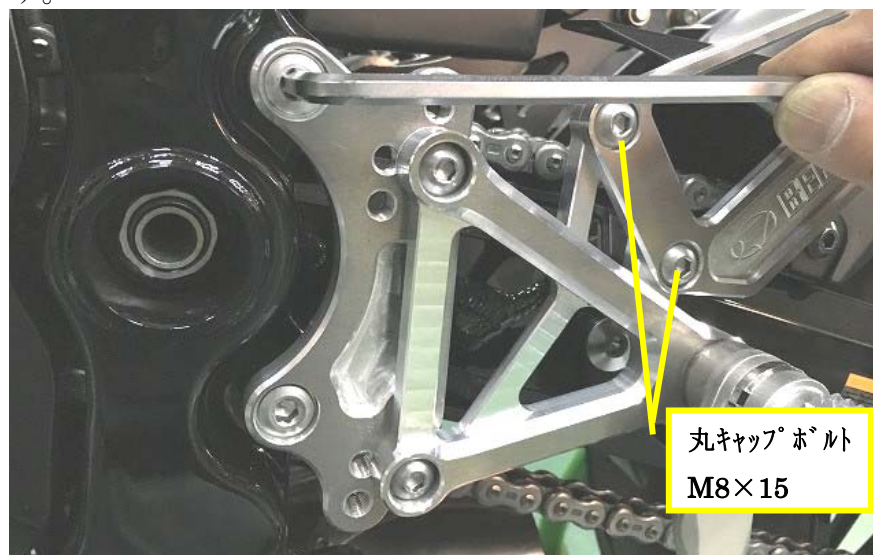
LH（チェンジ側）の取り付け

- ▶ チェンジ側ノーマルステップ側純正チェンジシャフトを止めている、純正 M6 六角ナットを緩めて、純正チェンジシャフトを外します。
- ▶ ノーマルステップを車体に固定している純正 M8 ボルトを外しノーマルステップを車体から外します。
※ 純正チェンジカムは使用します。

ブレーキ側同様に取り付けします。

※ヒールプレートの取り付けボルトは M8×15 を使用します。

チェンジロッドのピロボールをチェンジカムの真ん中の穴に丸キャップボルト M6×22 とロックナットで取り付ける。



丸キャップボルト
M8×15



チェンジロッド
溝加工のある方は逆ネジ

調整後、本締めを忘
れず行って下さい！

※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。

純正チェンジカムとチェンジロッドをエクステンションロッドで繋げ、チェンジペダル高さをロッドの長さを変更し好みの高さに調整する。

調整後、必ず3つの M6 ナットを本締めする。

※ エンジン側チェンジカムのエクステンションロッドは設定するポジションやペダルの垂れ角によって使い分けて下さい。

※ 付属の2種類のステンレスエクステンションロッドを選択するときは、

- ▶ ステンレスロッドの前端 M6 逆ネジ
- ▶ ステンレスロッドの後端 M6 正ネジ
- ▶ チェンジペダルのピロボール M6 逆ネジ の

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。！



エクステンションロッド 72mm
(後ろ側の2ポジションで使用)
前側の2ポジションは 45mm を使用

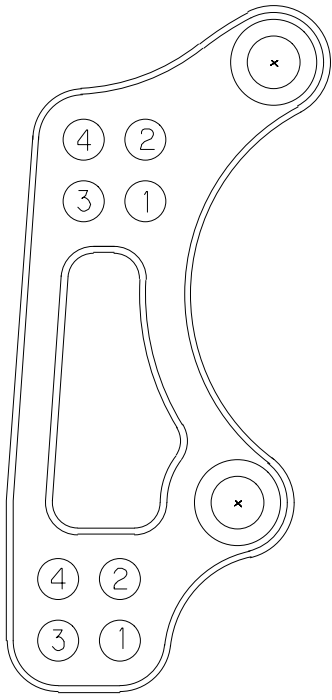
M6 ナットの本締
めは忘れず行
って下さい！

停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

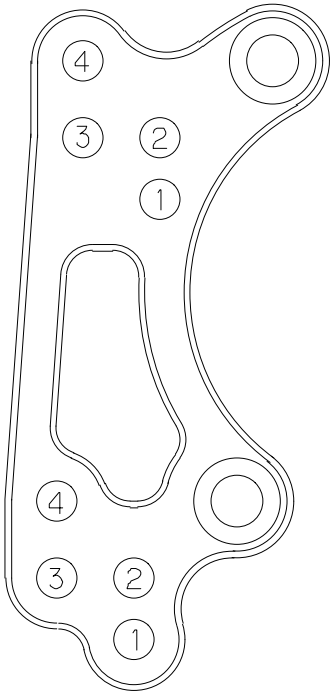
◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	BACK	UP	
Pos.1	5 3 mm	4 8 mm	
Pos.2	5 3 mm	6 0 mm	
Pos.3	6 5 mm	4 8 mm	
Pos.4	6 5 mm	6 0 mm	

オプションプレート

	BACK	UP	
Pos.1	5 3 mm	4 8 mm	
Pos.2	5 3 mm	6 0 mm	
Pos.3	6 5 mm	6 0 mm	
Pos.4	6 5 mm	7 5 mm	

》 注意点 《

- ✧ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションがありますので御了承下さい。
- ✧ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ✧ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ✧ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ✧ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL. 072 (257) 7600

FAX. 072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEETWebsite

Web サイトを開設しております。
左記 URL にて ご覧下さい。

26- Z900RS ハイパーバンク《補足説明》

< 注意！ 作業前に必ずお読み下さい >

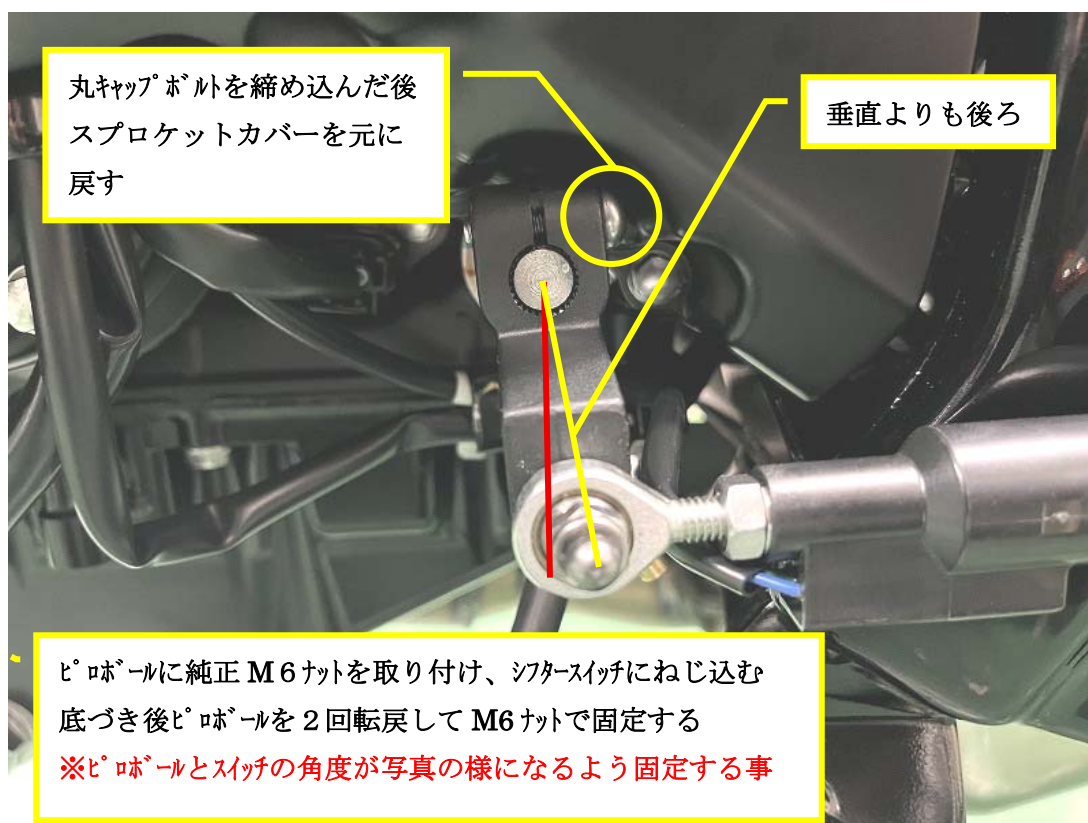
【ブレーキ側】



- ・左図の様に、ポジションプレートのステーにブレーキランプ/クルーズコントロールスイッチを取り付け、スイッチスプリングも事前に取り付けておく。
- ・ポジションプレートを車体に取り付けた際、スイッチ上部は右図の様になります。



【チェンジ側】

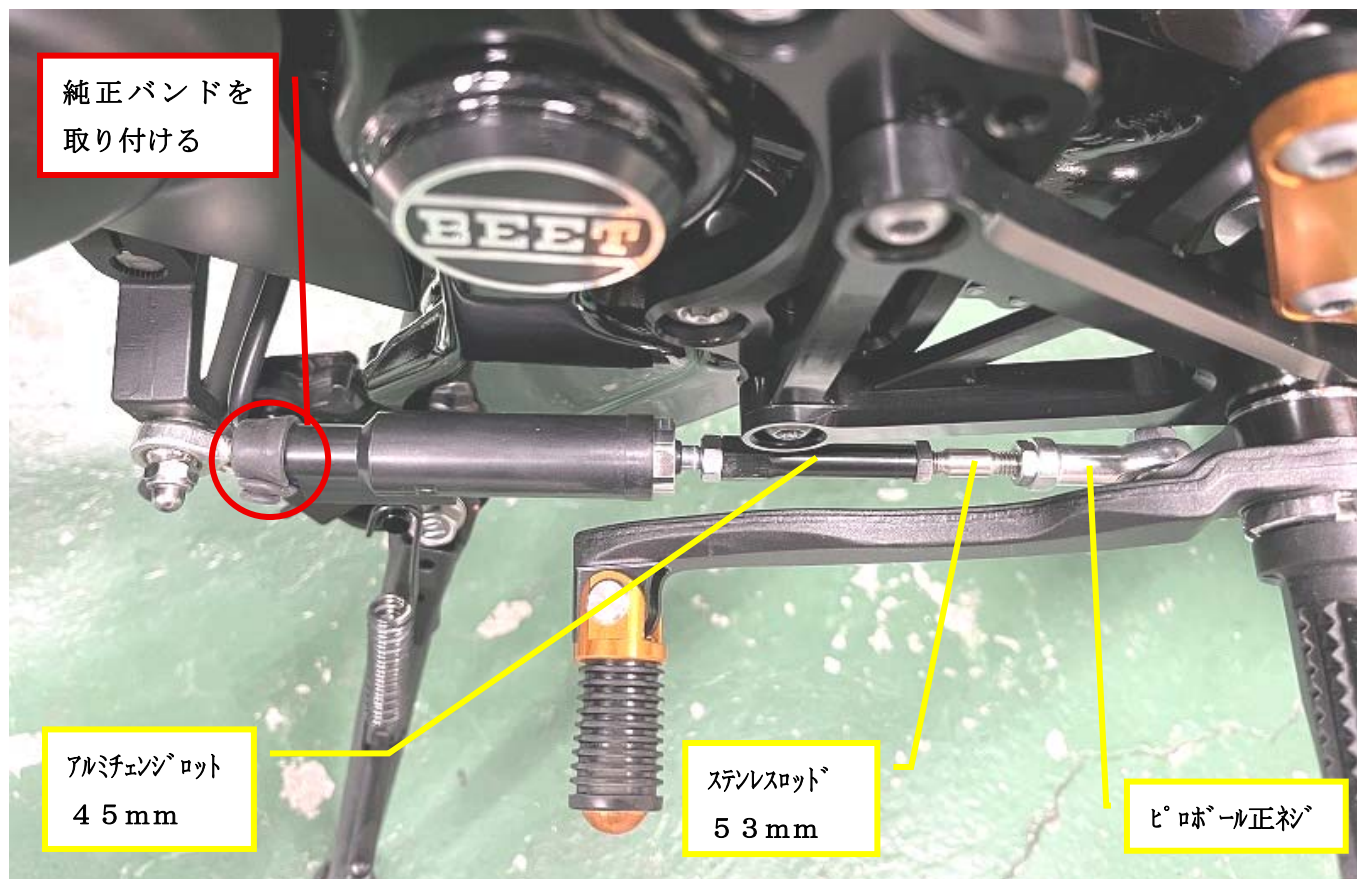


丸キャップボルトを締め込んだ後
スプロケットカバーを元に戻す

垂直よりも後ろ

ピロボールに純正 M6 ナットを取り付け、シフタースイッチにねじ込む
底つき後ピロボールを2回転戻して M6 ナットで固定する
※ピロボールとスイッチの角度が写真のようになるよう固定する事

- ・純正チェンジカムをエンジンから取り外し、シフタースイッチから取り外す。
- ・スプロケットカバーを取り外す。
- ・左図の様に付属のチェンジカムを取り付けた後スプロケットカバーを元に戻す。



・シフタースイッチにアルミチェンジロッド－ステンレスロッド－ヒールボールを取り付け、チェンジペダルと連結させる。



※『取付説明書』
5 ページ目の注意点を必ず確認すること。

取付説明書を紛失されている場合は、ホームページのZ900RS ページの上部にある『パーツリスト/マニュアル』のアイコンから取付説明書をご覧ください

※ お問い合わせは
Tel **072-257-7600**
Fax **072-259-6600**
(株)日本ビート工業 までどうぞ。

● ホームページアドレス <http://www.beet.co.jp/>
● メールアドレス
商品関連 sales@beet.co.jp
技術関連 support@beet.co.jp